

外車を買う前の、現実チェック10項目

憧れをあきらめるための紙ではありません。憧れを実行可能にするための紙です。1台に絞れたら、この10項目を上から埋めてください。

全部に印が付けば、その車は買っていい1台です。付かない項目があるなら、そこが将来の「こんなはずでは」になります。

#	確かめること 項目	国産車とのちがい なぜ差が出るのか	効く対策 買う前にできること	確認できた 印を付ける
1	部品代 お金	海を渡ってくる費用と、流通量の少なさで価格が上がる。同じような部品でも差が出る	よく交換する部品（ブレーキ・バッテリー・タイヤ）の値段を、販売店で先に聞いておく	☐ 聞いた
2	工賃と診断料 お金	専用の工具や診断機が必要な場合があり、作業単価が高くなる	車検の概算を1回出してもらう。国産車と比べて何割増しかを数字で知る	☐ 見積もり取得
3	消耗品の減り方 お金	高い速度で止まる前提の車はブレーキ部品が早く減る。タイヤも大きく高価なサイズが多い	タイヤ1本の値段×4と、交換の目安時期を確認。年あたりの金額に直す	☐ 年額に直した
4	任意保険の保険料 お金	修理費が高い車は、車種ごとの区分で保険料が上がる	契約前に見積もりを取る。同時に候補の国産車でも取って比べる	☐ 見積もり比較
5	燃料の種類 お金	ハイオク指定やディーゼルの車が多い。給油のたびに差が出る	月の走行距離から、1年ぶんの燃料代を計算して比べる	☐ 1年ぶん計算
6	直せる場所の距離 場所	正規の販売店や輸入車を扱う工場は、国産車ほどどこにでもあるわけではない	自宅から近い順に、扱える店を3つ書き出す。片道の時間も書く	☐ 3つ書いた
7	修理中の代車 場所	部品の取り寄せに時間がかかることがあり、預ける期間が長くなりやすい	代車が出るか、有料か無料かを販売店に確認する	☐ 確認した
8	駐車場のサイズ 大きさ	同じ用途の国産車より幅が広いことが多い。機械式には幅・高さ・重さの制限がある	自宅の駐車場を実測。機械式なら掲示の制限を写真に撮る。ドアを開ける余裕も見る	☐ 実測した
9	家までの道 大きさ	車体が大きいと、狭い道やすれちがいが毎日の負担になる	試乗のとき、自宅周辺のいちばん狭い道を通らせてもらう	☐ 通ってみた
10	保証と手放すとき 時間	正規と並行では保証もリコール対応も別。値下がり国産車より大きくなりやすい	保証の残りと内容を書面で確認。数年後の下取り目安も聞いておく	☐ 書面で確認

 いちばん多い失敗

8番の駐車場です。契約してから入らないと気づく人が実際にいます。幅が数センチちがうだけで毎日の駐車が苦行になります。メジャーを持って測る・・・これが車選びでいちばん費用対効果の高い15分です。

 値下がり、裏返せば好機

輸入車は数年での値下がりが大きくなりやすい。売る側には痛手ですが、中古で買う側には狙いどころです。同じ予算で、新車の国産車より上等な作りの1台に届くことがあります。第9講・第10講につながる考え方です。

 憧れを否定しないために

この10項目は、あきらめさせるための紙ではありません。事前に数えておけば、あとから慌てずにすむというだけです。数えたうえで「それでも欲しい」なら、それは十分に正しい買い物です。